

特別救助隊による署長査閲訓練を実施

令和6年8月29日

吉川松伏消防組合では、8月28日、難燃製ロープ災害運用に伴う、特別救助隊の署長査閲訓練を実施しました。

この訓練については、今年度特別救助隊へ新たに配備した難燃製ロープを活用した訓練を各所属長に披露し、災害運用開始に向け各署間の共通認識を図り、組織内の更なる連携強化及び安全管理対策の構築を図ることを目的とし実施しました。

当該ロープについては、今まで使用していた三つ打ちナイロン製の救助ロープよりも耐熱性(500℃)、耐衝撃性等に優れており、火災時に発生しうる危険要因により対応できるロープになります。

訓練は、吉川消防署の第1中隊特別救助隊と第2中隊特別救助隊が合同で実施したことから、日常の訓練とは違った緊張感の中で実施できたことやそれぞれの隊の技術交流を図ることもでき大変有意義な訓練となりました。

特別救助隊については、引き続き一人でも多くの要救助者を救助するため、日々精進してまいります。

訓練の様子



査閲訓練開始報告の様子（菊地隊長）



応急梯子訓練開始前の様子



2階へ進入している様子



救出の様子



屋内検索検索前の打ち合わせの様子



隊長から下命を受ける様子



建物内を検索している様子



要救助者を発見した時の様子



要救助者を搬送している様子



訓練終了報告の様子（田久保隊長）



訓練終了後の様子

